

町長行政報告



湯沢町長
上村 清隆

最近の新聞報道によりますと県内経済は緩やかに回復してきているとのことであり、この傾向が一日も早く湯沢町へも波及することを願っております。

去る5月19日をもって、融雪災害警戒本部を解散いたしました。異常豪雪に見舞われた今冬でしたが、大きな災害や事故もなく青葉の季節を迎えることができましたのも、町民皆様のご協力の賜であると、改めて感謝申し上げます。

湯沢町では4月より、行財政改革の推進に向けて新行財政推進室を立ち上げました。

町の財政状況も非常に厳しいものとなってきており、現在の行政組織や行政サービスを今のまま継続することは困難な状態であります。そこで来年の4月を目途として、「行政組織機構の改革」、「行財政改革」、「自立プランの策定」に取り組んでいるところであります。平成17年度の観光客の入り込みについては、総

数で574万人で、対前年度比87%で75万8千人の減となりました。異常豪雪によるスキー客の減少が主な要因と考えております。

4月29日には「花まつり湯沢」が開催され、好天に恵まれ7千人の来場者がありました。

湯沢温泉ロープウェイ事業所においては、ゴールデンウィークの期間中に「湯沢高原春の雪まつり」を開催し、1万人を超えるお客様より楽しんでいただきました。

一方、観光事業の民営化につきましては、6月中の基本合意に向け、相手先の日本ケーブル(株)と協議を進めているところであります。企業会計における観光事業の運営は限界にきておりますが、湯沢の観光には大切な財産であり、今後も継続発展のための民営化である

ことをご理解いただきたいと思います。

湯沢町史編纂事業は湯沢町制50周年事業として発足し、8年の歳月をかけ完結いたしました。こ

れまでご尽力いただきました多くの皆様と、貴重な資料提供にご協力くださった方々に、深く感謝申し上げます。



湯沢高原春の雪まつり